

**白内障(はくないしょう)について⑩**

明けましてオメデトウございます m(\_\_)m 今年も宜しくお願い致します。

今年、平成が終わり新元号を迎える年となります。新元号はどんな名称になるのでしょうか？楽しみですね！また、本フジタガンカニューズも区切りの 100 号となりました。今後とも皆様のお役に立てる情報の提供に努めて参ります、今後とも宜しくお願い致します！

では、前回号に引き続き「日本白内障屈折矯正手術学会 (JSCRS)」のホームページ <http://www.jscrs.org/> に掲載されている白内障についての解説文を引用して行きます。

@@

**手術に注意のいるケース**

・外傷の既往

過去に眼をぶつけたことがある方、交通事故などで顔面打撲をしたことがある方はその時の衝撃で眼の中の水晶体の支えが弱っていることがあります。外傷の既往があっても通常通り手術が可能かもしれませんが、場合によっては水晶体囊の補強が必要となったり、初回手術で眼内レンズが挿入できないことがあります。昔の外傷でも手術に影響することがありますので、外傷の既往がある方は主治医に申し出て下さい。

・小児

子供の白内障は程度にもよりますが、大人になったときに視力が十分にでない(弱視)の原因となることがありますので、適切な時期に治療を行うことが重要です。白内障の程度によっては手術の必要がないこともあります。子供の黒目の中央が白く見える場合(白色瞳孔)には白内障の可能性があるので早めに眼科へ受診してください。

・超高齢者(85 歳以上)

超高齢者の方であっても白内障によって視力低下をきたしており、日常生活に不自由している場合には手術を検討します。超高齢者の場合には、眼球の色々なところが 60 代、70 代の方よりも弱っている場合があります。具体的には、水晶体の支えが弱い、瞳孔の開きが悪い、白内障が進行しているなどの理由で手術の難易度が高いことがあります。また、手術は原則局所麻酔で行いますが、術中に身体や眼が動いてしまい、じっとしているのが難しいことがあります。手術を受けることで得られる利益と想定されるリスクについて主治医とよく検討の上、手術を行うことをお勧めします。

・術中虹彩緊張低下症候群 (IFIS)

IFIS は前立腺肥大症治療薬を内服されている方に起こる眼の副作用で、白内障手術の際中に虹彩脱や瞳孔径の縮小(縮瞳)をきたすものです。この内服されている方の発症頻度は 30~40%です。手術中に IFIS がみられた場合には適切な対策をとらないと時には合併症を招くことがあります。前立腺肥大症治療薬を内服されている方は白内障手術を検討する際に主治医に申し出て下さい。

**特殊な白内障手術**

小児の白内障

子供でも白内障が起こることがあります。生まれつき(先天性)の場合や成長とともに現れ進行するもの(発達白内障)があり、頻度は子供 250 人にひとりくらいという報告があります。その原因はわからないものもありますが、両眼で発症する場合は多くは遺伝性です。片目だけの白内障の場合は全身の病気とは関係ない場合が多く、外傷などもその原因です。具体的な原因として常染色体優性遺伝、染色体異常、子宮内感染(風疹、トキソプラズマ、サイトメガロウイルスなど)のほか、さまざまな全身疾患・症候群に伴って起こるものが報告されています。

瞳の中に白い濁りがある場合やご家族に先天白内障の方がいらっしゃる場合、眼振(眼の揺れ)や異常な眼の動き、斜視がある場合には、白内障の場合もありますので、「眼科を受診なさった方がよいでしょう。」多くの新生児で見つかる白内障は小さく視力の発達の妨げにならないことが多いのですが、一部の子供で重度視力障害をきたします。軽度の白内障の場合でも進行しないかどうか、定期的に眼科で検査を受ける必要があります。

@@

誌面の都合にて今回のフジタガンカニューズはここまでです。続きの引用は次回号をお楽しみに！  
年明けから寒さが続きますねー。インフルエンザの流行も始まっているようです、ご注意下さい。



<http://www.fujita-ganka.com>

**今月のお知らせ**

2/8(金)午後と2/9(土)は院長が角膜学会に出席するため当院は休診となります。ご迷惑をお掛けして大変申し訳ありませんが、ご理解の程宜しくお願い致します。



FUJITA-EYE-CLINIC  
**藤田眼科**  
エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)  
**P-Vision**

☎ **042 (645) 0575**  
☎ **042 (642) 2911**